

製品名: NHE-9 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14688**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	65kDa

抗原情報

遺伝子名	SLC9A9
別名	SLC9A9; NHE9; Nbla00118; Sodium/hydrogen exchanger 9; Na(+)/H(+) exchanger 9; NHE-9; Solute carrier family 9 member 9
遺伝子 ID	285195.0
SwissProt ID	Q8IVB4
免疫原	抗血清はヒト SLC9A9 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 171-220

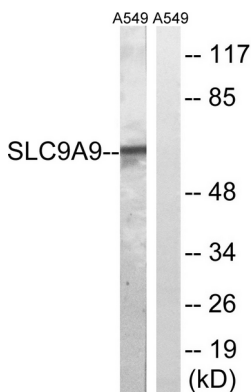
背景

この遺伝子は、溶質輸送体 9 タンパク質ファミリーに属するナトリウム/プロトン交換輸送体をコードしています。コードされている

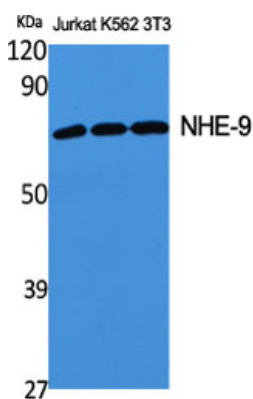
タンパク質は、リサイクリングエンドソームの最終段階に局在し、陽イオン恒常性の維持に重要な役割を果たすと考えられます。この遺伝子の変異は、自閉症感受性遺伝子 16 および注意欠陥・多動性障害 (ADHD) と関連しています。[RefSeq 提供、2012年3月], 疾患: SLC9A9 に関わる染色体異常は、注意欠陥・多動性障害および知的障害 (ADHD) の特徴を伴う早期発症型行動・発達障害の原因となる可能性があります[MIM:143465]。逆位 inv(3)(p14;q21)。この逆位は SLC9A9 および DOCK3 を阻害します。機能: 膜を介した Na(+)とプロトンの電氣的に中性な交換に関与すると考えられます。ゴルジ体内腔 H(+)の細胞質陽イオンとの交換に関与する。細胞内のゴルジ体および後ゴルジ体区画の特有の酸性 pH 値の維持に寄与することで、細胞小器官のイオン恒常性維持に関与する。類似性: 一価陽イオン: プロトンアンチポーター 1 (CPA1) トランスポーター (TC 2.A.36) ファミリーに属する。組織特異性: 試験した全ての組織で普遍的に発現する。心臓と骨格筋で最も多く発現し、次いで胎盤、腎臓、肝臓と続く。脳、髄質、脊髄にも発現する。

研究分野

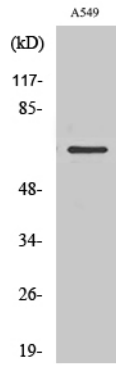
画像データ



SLC9A9 抗体を用いた A549 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



NHE-9 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



NHE-9 ポリクローナル抗体を用いた RAW264.7 細胞のウェスタンブロット解析